

健康社会研究センター ニューズレター 第20号

2012. 3. 1 発行

◆ 目次 ◆

- 1 受賞等のお知らせ
- 2 プレスリリース
- 3 主な研究成果発表
- 4 学会・シンポジウム・研究会等のお知らせ
- 5 その他お知らせ

1 受賞等のお知らせ

- ① 第22回日本疫学会学術総会でポスター賞を受賞しました。
齊藤雅茂：まちづくりは高齢者の閉じこもりに効果があるのか；J-AGES プロジェクト
詳細はこちら→ http://cws.umin.jp/paper/2012_saito_matizukuri_poster.pdf
- ② 日本福祉大学医療福祉マネジメント研究科の優秀論文（2012）に選ばれました。
林尊弘：転倒予防のプログラム評価
ーハイリスク戦略の課題とポピュレーション戦略開発に向けた検討ー
- ③ 東海社会学会で優秀修士論文研究（2010年）として表彰されました。
（一部に AGES データを使用）
美濃羽亜希子：高齢者の社会参加とネットワークー蓄積された関係的資本に着目して。

2 プレスリリース

市町村の閉じこもり高齢者割合に5倍程度の違い

～地域の貧困や交流の衰退が閉じこもり解消に寄与する可能性あり～ （2012年1月31日）

2010年8月から2011年3月にかけて全国27市町村の健康な高齢者117,494名を対象にした郵送調査を行い、78,769名の有効回答を得た（回収率＝67.0%）。調査の結果、市町村の閉じこもり高齢者割合には大きな差があり（10.5～49.8%）、人口規模と高齢者割合に関わらず、閉じこもり割合が高い市町村は要介護認定者割合が高い傾向にあることが確認された。また、貧困者が多い地域、近隣での交流や祭りが衰退していると感じる人が多い地域ほど、個人単位の諸要因に関わらず、健康な高齢者が閉じこもりに至りやすい傾向があり、個人要因だけでなく環境要因に配慮したまちづくりが高齢者の閉じこもりの解消に寄与する可能性があることが示唆された。（本報告は日本疫学会ポスター賞を受賞しました）

<詳細はこちらから→ http://square.umin.ac.jp/ages/press-releases/11_008.pdf>

3 主な研究成果発表

<書籍>

- ・ 近藤克則：「医療クライシス」を超えて。医学書院，2012.3

<論文>

- ① Yusuke Inoue, Seungwon Jeong, Katsunori Kondo, Young-joon Seo: Stroke Rehabilitation Performance and Outcomes among Hospitals, The Korean Society of Health Service Management 5 (3), 53-61, 2011

- ② 近藤克則, 芦田登代, 平井寛, 三澤仁平, 鈴木佳代: 高齢者における所得・教育年数別の死亡・要介護認定率とその性差—AGES プロジェクト縦断研究—. 医療と社会, 印刷中
- ③ 近藤尚己, 近藤克則, 横道洋司, 山縣然太郎: 高齢者における所得の相対的剥奪と死亡リスク—AGES 追跡研究—. 医療と社会, 印刷中
- ④ 近藤克則: データ・マネジメント・システムの概要と課題 シンポジウム「データベースマネジメント」.(第 48 回医日本リハビリテーション医学会学術集会シンポジウム)The Japanese Journal of Rehabilitation Medicine, in press.
- ⑤ 近藤克則: こころの健康の社会的決定要因と自殺対策—J-AGES/ベンチマークをもとに. 秋田県公衆衛生学雑誌 印刷中
- ⑥ 徳本雅子, 甲斐雅子, 豊田章宏, 近藤克則, 鄭丞媛: 脳卒中急性期リハビリテーションにおける作業療法の意義. 日本職業・災害医学会誌 59 (6): 276-280, 2011.11

<学会報告>

<第 22 回日本疫学会での報告> (50 音順)

- ① 相田潤, 近藤克則, 山本龍生, 竹内研時, 小坂健: ソーシャルキャピタルと高齢者の残存歯数の関連; J-AGES プロジェクト. 第 22 回日本疫学会学術総会 (東京) 抄録集: 125, 2012.1
- ② 今井久: 高齢者の身体的及び精神的健康と幸福感との関連. 第 22 回日本疫学会学術総会 (東京) 抄録集: 117, 2012.1
- ③ 尾島俊之, 近藤克則, 三澤仁平, 齊藤雅茂, 市田行信, 近藤尚己, 徳本史郎, 村田千代栄, 狩野恵美: コホート研究に基づく介護予防ベンチマークのための総合指標の基礎的検討: J-AGES HEART の開発. 第 22 回日本疫学会学術総会 (東京) 抄録集: 90, 2012.1
- ④ 近藤克則, 尾島俊之, 近藤尚己, 三澤仁平, 齊藤雅茂: 介護予防政策のためのベンチマークシステム開発: J-AGES プロジェクト. 第 22 回日本疫学会学術総会 (東京) 抄録集: 90, 2012.1
- ⑤ 近藤尚己, 齊藤雅茂, 近藤克則, 尾島俊之, 三澤仁平, 市田行信, 平井寛, 山縣然太郎: 高齢者の抑うつに関連する地域環境要因に関するマルチレベル分析: J-AGES プロジェクト. 第 22 回日本疫学会学術総会 (東京) 抄録集: 82, 2012.1
- ⑥ 齊藤雅茂: まちづくりは高齢者の閉じこもりに効果があるのか; J-AGES プロジェクト. 第 22 回日本疫学会学術総会 (東京) 抄録集: 117, 2012.1
- ⑦ 三澤仁平, 近藤克則, 竹田徳則, 尾島俊之, 近藤尚己, 市田行信, 小橋元, 山本龍生, 相田潤, 平井寛: 要介護リスク得点開発の試み: AGES コホート. 第 22 回日本疫学会学術総会 (東京) 抄録集: 88, 2012.1
- ⑧ 山本龍生, 近藤克則, 三澤仁平, 平井寛, 中出美代, 相田潤, 近藤尚己, 平田幸夫: 歯数・義歯の有無と高齢者の転倒との関連: AGES コホート. 第 22 回日本疫学会学術総会 (東京) 抄録集: 125, 2012.1

<講演>

- ① 近藤克則: 日本医療政策機構主催「医療政策サミット 2012~Open Platform and Global Collaboration~ グローバルアジェンダを設定する: 健康医療政策の優先順位」ホテルニューオータニ シリウスの間, 2012.2.10
詳細はこちら→ http://www.hgpi.org/report_events.html?article=186
- ② 近藤克則: 講演「医療崩壊した英国に学ぶ~高齢者医療・介護制度改善の道すじを考える~」在宅医療研究会, 2012.2.28, 横浜
- ③ 近藤克則: 特別講演「超高齢社会・格差社会の中の終末期ケア」第 20 回三河緩和医療研究会, 2012.2.25, 豊田

4 学会・シンポジウム・研究会等のお知らせ

1) 介護予防 WG (JAGES)・AGES 研究会今後の予定 ※変更になることがあります。

- ・ 3 月研究会
【日 時】 3 月 4 日 (日) 10 : 30 ~
【場 所】 日本福祉大学名古屋キャンパス 7B
- ・ 4 月研究会
【日 時】 4 月 14 日 (土) 10 : 00 ~ を予定
【場 所】 国立社会保障・人口問題研究所
- ・ 5 月研究会
【日 時】 5 月 12 日 (土) 10 : 30 ~ を予定
【場 所】 日本福祉大学名古屋キャンパス (予定)
- ・ 6 月研究会候補日 : 10 日 or 24 日 or 30 日
- ・ 7 月研究会候補日 : 1 日 or 8 日 or 14 日 or 15 日

2) お知らせ

WHO のウェブサイトの中で、WHO 神戸センター (WKC) が共同で取り組む共同研究プロジェクト (J-AGES HEART) が紹介されました。

こちら → http://www.who.int/kobe_centre/ageing/j_ages_heart/en/index.html

日本語はこちら → http://www.who.int/kobe_centre/ageing/j_ages_heart/ja/index.html

5 その他お知らせ (AGES メンバーからご提供いただいた情報です)

<受賞>

- ・ AGES 研究会メンバーの山本龍生先生が日本口腔衛生学会賞 “LION AWARD” を受賞しました。
代表論文 : Validity of a questionnaire for periodontitis screening in Japanese employees.

<論文>

- ・ 齊藤雅茂, 藤原佳典, 小林江里香, 深谷太郎, 西真理子, 新開省二 : 同居者のいる住民基本台帳上の一人世帯高齢者の特性. 老年社会科学 33 (4), 2012. 1

ニューズレター第 20 号の発行にご協力いただきましてありがとうございました。

今後とも当センターへのご支援をよろしくお願い申し上げます。

メーリングリストの配信の停止をご希望の方・ご意見・お問い合わせ・情報提供はこちら <k-manami@n-fukushi.ac.jp (泉)> までお知らせください (ご連絡の際は*を@に変更して下さい)。

ニューズレターのバックナンバーはこちら <[バックナンバー](#)>

発行元 : 健康社会研究センター <http://cws.umin.jp/>

このメールは、国際シンポジウム「健康の社会的決定要因—社会疫学の可能性」(2009 年 3 月 14 日開催) 及び、「『健康の社会的決定要因』を巡る国際的動向」(2011 年 12 月 23 日開催), 国際ワークショップ「社会疫学と老年学における国際共同研究の可能性」(2012 年 1 月 8 日開催) にてメール登録をご希望いただいた方及びメーリングリスト web 登録をいただいた方に配信しています。